

第38回

沖縄県児童養護研究大会（オンライン）

開催要項

- 趣 旨**

平成28年の児童福祉法の改正をうけ、国が発出した「新しい社会的養育ビジョン」では、里親委託の推進や児童福祉施設の高機能化・多機能化が示されており、本県においても社会的養育推進計画が策定・推進されております。

また、深刻化する児童虐待に対応すべく、児童福祉法及び児童虐待防止法が改正され、保護者等の体罰禁止の明文化や児童相談所の体制強化等、児童の養育環境の改善と権利擁護の確立が求められております。

このような中、我々児童福祉関係者は児童一人ひとりの背景や特性を考慮し、「児童の最善の利益」を最優先に考え、支援にあたるとともに、児童福祉施設や里親、児童相談所等をはじめとする関係機関・団体が連携を密にし、包括的に児童や子育て家庭を支える仕組みづくりが重要となります。

本研究大会は、県内の児童福祉関係者が一堂に会し、様々な背景や課題を抱えた児童に適切に対応するための支援や今後の社会的養育のあり方等について学び、児童の健全な育成と自立に向けた取り組みの強化に資することを目的に開催します。
- 主 催** 社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会、沖縄県児童養護協議会
- 開催方法** オンライン（オンデマンド配信／Zoom リアルタイム配信）
- 日 時**

（1）行政説明・記念講演 … オンデマンド配信（Vimeo）
令和4年1月17日（月）～2月13日（日）

（2）各研究部会 … ライブ配信（Zoom） ※ 後日配信はありません。

第1研究部会	令和4年1月21日（金）	10時～12時
第2研究部会	令和4年1月20日（木）	10時～12時
第3研究部会	令和4年1月17日（月）	10時～12時
- 参加対象** 児童養護施設、乳児院、児童自立支援施設、児童心理治療施設、自立援助ホーム、保育所、県母子寡婦福祉連合会、県里親会、児童相談所、母子生活支援施設、福祉事務所等児童福祉関係者、市町村社会福祉協議会、民生委員・児童委員、学校関係者、学生 他
- 参加費** 1人につき 3,000円（学生のみ1人につき 1,000円）
- 申込締切** 令和4年1月7日（金）17時まで

8. 行政説明

「沖縄県社会的養育推進計画の方向性と児童福祉の動向について」(仮題)

沖縄県 子ども生活福祉部 青少年・子ども家庭課

児童育成班長 島袋 琢司 氏

9. 記念講演

「子どもの心に寄り添う支援とは ～トラウマの連鎖を防ぐために～」(仮題)

こころとからだ・光の花クリニック 院長 白川 美也子 氏

1989年浜松医科大学卒業。

浜松市内のいくつかの病院を経て、2000年4月より独立行政法人天竜病院小児神経科・精神科医長。2006年より浜松市保健福祉部保健福祉施設設置準備室、2007年より浜松市精神保健福祉センター所長、2008年より国立精神・神経センター臨床研究基盤研究員。

2010年1月より昭和大学精神医学教室、特任助教として発達コホートの形成と母親のメンタルヘルスと乳児の自己調節障害の観察および生物学的背景にまつわる研究を開始する。4月より、東京女子医科大学女性生涯健康センター非常勤講師。

2011年4月より昭和大学特別研究生、フリーランスになり東日本大震災の支援と地域における子ども虐待やDVによるサバイバーの方への臨床的支援、研究に携わる。

2013年10月10日「こころとからだ・光の花クリニック」を開業。同年10月25日より保険診療を開始する。



10. 研究部会

※ 詳細については、下記のとおり。

職員のメンタルヘルスケアと良質な支援の展開について	
第1研究部会	社会的養育を必要とする児童の多くが、虐待によるトラウマ体験や不適切な養育環境での育ちのなかで、愛着や発達など何等かの障害を抱えて入所してきており、これらが原因で引き起こる対人関係におけるトラブルや落ち着きのなさ等の多様な言動について、児童養護施設や児童自立支援施設、里親等、支援者は対応に苦慮している現状がある。 このような状況でも、職員が一人で抱え込まず、心にゆとりをもって支援にあたるよう施設内でのチームケアの体制づくりや、職員のメンタルヘルスケアが重要となってくる。 本研究部会では、職員のメンタルヘルスについて関係者全体で協議を行い、今後のより適切な支援に繋げていきたい。
	運営方法 実践発表、グループ討議
	助言者 こころとからだ・光の花クリニック 院長 白川 美也子 氏
	発表者 児童養護施設 青雲寮 施設長 北谷 誠 氏 「職員のメンタルヘルスケアの現状と課題」

第2 研究部 会	食育の大切さを学ぶ	
	<p>近年、児童養護施設等では、できるだけ家庭に近い形で、職員との個人的な関係性を重視したきめ細やかなケアを行うため、施設の小規模化が進められている。</p> <p>さらに児童養護施設等は、子どもにとって基本的な生活の場であり、安全で健やかに成長できる環境が求められている。入所する子どもの中には、重篤な食物アレルギーを有する子どもも含まれており、職員はその子どものアレルギー特性について十分に理解して対応する必要があり、広く施設等の一般の職員に対し、アレルギーに関する正しい知識や基本的な対処方法についての情報を周知し、常にその認識を喚起させていくことが必要である。</p> <p>本研究部会では、施設の小規模化を見据え、食材を取り扱う際の基本的知識や安全・安心な食事提供の学ぶとともに、子どもの健やかな心身の成長のために食育を通してどのように支援できるかを考える。</p>	
	運営方法	講義、グループ討議
	講師	沖縄アレルギーゆいまーるの会 管理栄養士 大田 なつき 氏
第3 研究部 会	関係機関連携による支援の充実について	
	<p>平成29年8月に発出された「新しい社会的養育ビジョン」では、社会的養育を担う児童福祉施設の小規模化や地域分散化の更なる推進と、里親や地域の子育て家庭の支援等、児童福祉施設の高機能化・多機能化が示された。</p> <p>このような中、本研究部会では、施設だけではなく、医療機関や学校教育等各関係機関との連携により、子どもの特性等を理解し、参加者による協議を深め、今後の適切な支援に繋げていきたい。</p>	
	運営方法	実践発表、グループ討議
	助言者	オリブ山病院 児童思春期精神科 医師 滝川 一廣 氏
発表者	児童養護施設 沖縄県立石嶺児童園 保育士 半澤 香苗 氏 「関係機関との連携と子ども理解」	

II. 申込方法

(1) 本会ホームページからお申込みください。

「受講申込入力フォーム」へアクセスし、必要事項を入力のうえ、送信してください。

<https://www.okishakyo.or.jp/workshop/>

※最終ページで「自分にも送信内容のメールを送る。」に必ず✓マークを入れてください。受付完了後、確認メールが登録されたメールアドレスに自動送信されます。(確認メールが届かない場合はお問い合わせくだ

さい)。

- (2) お申し込みと合わせて下記本会指定口座へ参加費をお振込みください。
- (3) 振込手数料は申込者にて御負担ください。
- (4) 申込後のキャンセルについては返金致しません。
- (5) 参加費の現金納付は受け付けいたしません。

金融機関 : 琉球銀行 石嶺支店 普通預金
口座番号 : 315935
口座名義 : 社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 会長 湧川昌秀
フリガナ : フク. オキナワケンシャカイフクシキョウギカイ

※お振り込み者が確認できるよう。必ず御依頼人名(施設名)を先に御記入ください。

【記入例】「△△園」または「△△園 児童養護施設」と御記入ください。

「児童養護施設 △△園」はNGです。

(通帳記帳の際に「ジドウヨウゴ シツ…」となり確認できません)

12. 自然災害等による研究大会中止の場合

- (1) 参加費については、振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。
- ※自然災害等による研究大会の中止または延期等の御案内は本会ホームページにて掲載いたします (<https://www.okishakyo.or.jp/>)。

13. オンライン開催にあたって (留意事項)

- (1) 申込者 (または施設) には、アドレス (URL) をメールにてお知らせいたします。
- (2) インターネットによるオンライン配信となります。各施設におけるインターネット環境について事前に確認をお願いします。
- (3) インターネットによる動画が閲覧できる環境であれば問題ありません。スマートフォン、タブレット端末による視聴も可能です。
- (4) スピーカー機能、マイク機能が必要になります (講師の声を聴くためや、グループワークでの発言のために必要です)。
- (5) 研究部会ではグループワークが行われますので、カメラ機能が必要になります。必ず御準備ください。
- (6) その他、気になる点がある際は、事務局までお問い合わせください。

14. 個人情報のお取り扱い

申込フォームに入力された個人情報は、当研究大会の運営管理の目的のみに使用し、他の目的に使用することはありません。

15. 申込先及びお問合せ先

沖縄県保育協議会・事務局 (担当: 仲村政利・翁長湖夏)

社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 施設団体福祉部

〒903-8603 那覇市首里石嶺町4-373-1 (西棟4階)

TEL: 098-887-2000 FAX: 098-887-2024

E-mail: jiyoukyo@okishakyo.or.jp